

その他の建築工事業におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8～9	屋根の雪おろし作業を開始しようとして母屋1階北側の屋根に、梯子を掛け、他の作業員3名が屋根に登り、最後に被災者が梯子を中ほど高さ3m位まで登ったところで、梯子の根元が雪で滑り始めたのに気付かず、梯子と一緒に滑り落ち、腰部を打ち負傷した。	65～9	1
1	16～17	作業場屋根改修時、トイレに行きたくなり屋根から降りようとしてハシゴを3段位下がったところで、地面が凍っていたためハシゴが滑り始め、落ちた。	64～9	1
1	11～12	現場で外壁塗装中、脚立（6尺）上部から降りようとした時、バランスを崩して転落、左肩と頭部を脚立にぶつけた。	63	—
1	17～18	当社の資材置き場において物置の組み立てをする際、6段脚立の最上部（約地上2メートル）で物置の上部の部材をはめ込もうとして腕に力を入れた際、脚立がゆれ脚立から落下してしまい、右腕上腕部を骨折してしまった。	18～9	1
1	10～11	建物の屋根の状態を確認しようと、2.5m程の屋根の軒先に二連梯子をかけ登った所、ハシゴの下からすべりハシゴと共に落下した。足から着地し転がり、右足のかかと骨折と右ひざを打撲した。	30	—
1	9～10	被災者は、第二工場1階のアスベスト含有耐火被覆撤去の天井部分の隔離養生シート貼りを移動式昇降足場を用いて行っていた。その場でのシート固定が終わったので次の場所へ移動する為、高さ約2mで固定していた移動式昇降足場の梯子を下りている途中、高さ約1.3mぐらいで踏み外し床に背中から激突し、その際に首を負傷した。	51～9	1

1	16~ 17	住宅の雪降し作業のため、梯子をかけて屋根に登ろうとした時、梯子の下部が滑り、屋根から外れ、約3.5m位の高さよりコンクリートの土間に落下し、両足のかかとを骨折した。	41	~ 29	10
1	16~ 17	塔屋防水改修工事において、塔屋内ウレタン塗膜防水作業終了後、タラップにて降りる際、タラップが雪で濡れていた為、地上約3メートルの地点から誤って足を滑らせ、両足で着地し、左足首捻挫および右足かかと骨折を負った。	29	—	—
1	14~ 15	2つの脚立の上に板を置いた上に乗り、ローラーを使って後に下がりながら軒天の塗装中、足を踏み外し上向きの状態で落下し負傷した。	40	—	—
1	22~ 23	塗装場所へ移動する為、5尺の脚立をはしご状態にして、約2.3m程上がった屋上へ上る途中に使用していたはしごの足元が滑り、バランスを崩して転落した。その際に身をかばうように床上に腕を伸ばし、手首部分と足の踵を強打して負傷した。	24	~ 9	1
2	15~16	工場倉庫で個人宅リフォーム工事準備のために脚立に乗って棚から循環パイプを取り出す時、バランスを崩し転倒し、下にあったパイプの切れ端を踏み右足首をひねり負傷した。	35	—	—
2	10~11	棚にあるシャッター部品等の部材を脚立に乗って整理していたところ、誤ってバランスを崩して脚立と共に倒れ込んでしまい、その際、左胸のポケットにあった携帯電話を左胸と脚立で挟む状態で左胸を強打し、肋骨に骨折を負った。	44	—	—
2	11~12	お客様倉庫内にてシャッター開閉機の交換作業中、脚立に乗って交換作業をしている時、バランスを崩して脚立より地面に落下してしまい、地面に顔と左手首を強く打ちつけたため顔と左手首を負傷した。	37	~ 29	10
2	11~12	お客様敷地内でカーポート工事中に骨組みをして部品を取り付けしていたところ、強風が吹き骨組が倒れてきた。その際に倒れてきた骨組みが脚立を巻き込みその脚立の下敷きになった。	29	~ 9	1
2	16~17	高さ2m着の歩廊階段の塗装を4尺の脚立を使い側面より塗装していた。夕方作業が終了したので降りようとした時足を踏み外し捻挫した。	31	~ 9	1
		当社事業場倉庫内にて、工事現場で使用する部材等の整理作業中、積み重ねていた			

2	9~10	部材の入った箱を、脚立に上って動かしていたところ（高さ約2m）バランスを崩して転倒落下し、右足首を負傷した。	40	—
2	11~12	リフォーム工事現場において、脚立に上がり（高さ約1m60cm）屋根の軒先解体作業後、脚立から降りる時、足を踏み外し地面に落ちたところ地面の配水管に右肩、右胸部、背中を打ち負傷した。	67	1 ~ 9
2	8~9	当社の工場で破砕機から出た破砕物（木片）が事務所の屋根に飛散していたので、それを取り去るために脚立を屋根にかけた時、霜で屋根が濡れていたために足が滑り下に落下した時に右大腿骨を骨折した。ヘルメットはかぶり及び安全靴も履き、安全帯もはめていたが十分でなかった。予防策として、今後は安全用具の着装については十分確認してから高所作業を行うよう徹底する。	61	1 ~ 9
3	15~16	自社資材置場において、資材の整理整頓中、休憩時間になったので脚立（高1.5m）を降りようとしたとき、足を滑らしそうになったので咄嗟に飛び降りてしまい、左足かかとを土場に強くつき負傷した。なお、ヘルメット・安全帯・安全靴は着用していた。	45	10 ~ 29
3	11~12	軒高3.0mのテント車庫鉄骨解体で軒中央部に梯子を掛けて玉掛け作業中、作業員2名で鉄骨梁に玉掛けを行った後、両端に分かれて梁部結合のボルトを外し、解体していく手順を他の作業員が玉掛け作業が終了し、配置についているものと思いボルトを外したため鉄骨がずれて、それに伴い梯子がずれて梯子途中の当該者も梯子と一緒に足から転倒落下した。	61	10 ~ 29
3	16~17	自社作業ヤードにある旧倉庫の取り壊し作業において、屋根トタンの取り外し作業を終了させ、枠組足場から梯子で降下するとき、足を踏み外し足場の脇に落下し、腰・大腿部・左手を打った。	46	1 ~ 9
3	9~10	看板取付工事の現場で、約2m50cmくらいの高さの脚立の上で看板の取付を行っていたが、バランスを崩してしまい落下し、体の左側を地面に打ちつけ負傷した。	50	1 ~ 9
3	15~16	屋根軒先の寸先を脚立に乗って測る際に、寸法採りに気を取られ足を滑らし脚立から転倒し、左肘から落下した。	43	1 ~ 9

3	11~12	当社倉庫兼作業場にて、塗装資材の収納整理作業を終えて事務所に戻る途中、作業場にかかる擁壁にかけた脚立を降りる際、左足を内側に踏み入れてしまいバランスを崩し、右側に横転し、脚立にかかった左足を捻り負傷した。	50	1 ~ 9
3	13~14	土場の物置トタン張替において、脚立に乗り作業中に誤って足を滑らせ約160cmの高さから地面に転落し、全身を打撲し、右手首骨折を負った。	50	1 ~ 9
3	17~18	作業場にて、加工するための部材を取ろうと約1.8mの脚立を使用した際、段を踏み外して床に落下し、左上腕と胸を打撲した。	23	1 ~ 9
3	13~14	高等学校の吊りTV台の転落防止金物を床が、ビニールシートをワックス処理されていて滑りやすくなっており、アルミ脚立（4尺）で取付作業中に脚立から降りようと片足を降ろしたとき、脚立が滑ってバランスを崩して転落し、ヘルメットを装着していたなかったので後頭部を強打した。	66	10 ~ 29
3	10~11	駐車場シャッターゲート壁面のタイル貼り替え作業時に、立ち馬に乗っていたが、立ち馬の脚が一部シャッター最下部に触れている事に気付かず、マンション住人のシャッター遠隔操作により上昇した立ち馬が持ち上げられ、バランスを崩し落下した。その際に足の踵を舗装面に打ちつけ、左足の踵を粉碎骨折した。	46	1 ~ 9
3	16~17	玄関周りが通路になっているため足場がなく、仮設脚立を2台使用し、それに踏み板をかけて使用し、外壁塗装を進めていたところ、仮設脚立ごと落下し、背中と後頭部を強打した。	66	1 ~ 9
4	17~ 18	第一発見者が人が倒れている所を見つけ、本人は救急車で搬送された。現場跡を見た際、最終工程で、軒先（220cm）を作業した時にバランスを崩し、脚立（6尺）と脚立の間に倒れてたと推測される。	68	1 ~ 9
5	15~ 16	玄関の柱を塗装作業中、脚立（約1mの高さ）を使用して作業していたところ、バランスを崩して転倒した。	47	1 ~ 9
	10~	足場にコンクリートの破片があった場所で、北側トイレの外壁貼り工事中、被災者		1

5	11	が梯子を補助していたところ、梯子の脚がコンクリートの隙間の中にもぐってしまい、バランスを崩して振り落とされ、右足のかかと部分にひびが入った。	67	～ 9
5	16～ 17	当社資材置場片付け中、古い浄化槽の解体をしようと脚立で浄化槽の上に乗る検討中、約2mの所から誤って落ちて負傷した。	49	1 ～ 9
5	22～ 23	1階白椅子コーナーで天井（CH2950）面の照明器具に塗装前の養生作業を立馬（H950）上で行っていた時、足を滑らせ、コンクリート床面に左肩と左頬を打ちつけた。	49	10 ～ 29
5	10～ 11	3Fより4F屋上に6尺脚立をのぼし梯子にのぼっている途中に足元（梯子）が滑り転落をした。営業に伴い、現地にて建物状況の確認作業を行っていた。	63	30 ～ 49
5	9～ 10	個人宅の解体工事中に、屋根に掛けた脚立梯子を下りている途中に、高さ1.5m位の所で足を踏み外して転落した。	31	10 ～ 29
5	16～ 17	住宅改築工事現場で1階のテラスの解体作業中、テラスの床（地面からの高さ約50cm）に3段（90cm）の脚立を置き、乗ってテラスの屋根を外す作業をしていた。（床面から250cmの位置）テラスの外側上部枠部分の作業中、体が斜めになっていたことから脚立がずれ、体勢が崩れ、脚立から落ちる際に左腕が脚立の間に入り、左肘脱臼と靭帯を損傷した。	65	1 ～ 9
5	10～ 11	当社資材置場にて、材料の片付け作業を行っていたところ、脚立の3段目よりバランスを崩し転倒し、腰や背中を強打した。	52	1 ～ 9
5	15～ 16	展示会ブース工事にて、B2Fコンベンションセンター内でのブース内壁面仕上工事の表装紙の貼り付け作業を行っている時に、脚立上で足元を移動する際、左足を踏み外して体勢を崩し、左側へ落下した。	60	10 ～ 29
5	13～ 14	塗装工事現場において、外部縦樋の塗装作業中、脚立から降りようとした際にペンキ缶を持っていたため体のバランスを崩し、約1.2m下の地上に転落し負傷した。	53	1 ～

				9
5	9~ 10	2階屋根に届く高さに地面から梯子を設置するため、梯子の部品を肩に持ち、梯子を上り始めてすぐにバランスを崩し、梯子から滑った。その時に左肩から地面に落ち、とっさに左手をついて左手首を骨折した。	57	1 ~ 9
6	14~ 15	自社倉庫内にて、1.2mの脚立に乗って片付けをしていたところ、足を滑らせ、同脚立3段目（約1m）から落下し、左大腿部を負傷した。	67	10 ~ 29
6	10~ 11	木造二階建アパート建築現場において、約1.2mの脚立の上で梁と柱の金物作業をしていたところ、足を滑らせて転落し、左腕と右膝を打った。	64	1 ~ 9
6	15~ 16	家屋解体現場において、立ち馬に乗って作業中、踏み外して転落し、左足首を骨折した。	52	1 ~ 9
6	11~ 12	高さ2.3mの自転車置場屋根葺き作業中に、脚立で上る途中にバランスを崩し、咄嗟に既に取り付けてあった鋼板製屋根板を掴んだところ、体重が掛かって横滑りした為、作業用手袋と共に左手掌小指付け根付近を鋼板の縁で深く切った。当日は時折小雨だった為、脚立のステップが濡れて滑ったことにより、バランスを崩したと思われる。	47	1 ~ 9
6	14~ 15	個人宅解体工事現場にて、脚立にのぼり、土壁をバールで取り壊していたところ、土壁が手前に落ちた為、びっくりして脚立から落ち、左膝を負傷した。	22	10 ~ 29
6	9~ 10	リフォーム工事にて、出窓サッシ解体後に、被災者が、屋内で出窓枠に短い脚立をかけて、その上に上がり、屋内から出窓の外にある長い脚立を持ち上げて家内に入れる作業中、足場にしていた短い脚立がベニヤ板床上で滑り、被災者が約70cm落下し、体の前面左側中腹部下側を床面に強く打ち、打撲傷を負った。（骨折はしていない。）	85	1 ~ 9
	14~	個人宅塗装工事において塗装工事中、左手に塗料、右手に脚立を持ち移動中、その		1

6	15	脚立に足をからませ転倒し、その際に左手を地面に強打し、骨折した。	56	～ 9
6	9～ 10	マンション1F電気室入口の前において、三尺脚立の2段目にて電気室入口周りの外壁の塗装中、振り返る際に足を踏み外し転倒した。その際、ローラーを右手に持っていたため、受け身をとれず左手にて落下した。土間コンクリートに手の平からついた際、腕を捻りながら転倒した。	33	～ 9
6	11～ 12	倉庫で現場に行く準備をしている時、脚立に乗って棚から上の物を下ろそうとして、バランスを崩して転倒し、下に置いてあった一斗缶の角にぶつけて、肋骨が折れた。	44	～ 9
6	14～ 15	被災作業員は、個人宅屋根補修工事現場において、1階の屋根の上で屋根瓦の補修工事中、7段脚立で下に降りる際、最上段で足を滑らせて踏み外し、地面に転落し、左肘と背骨を骨折した。	34	～ 9
7	16～17	自社資材置き場において、資材片付け作業中、誤って脚立を踏み外し腹部を脚立に強打、骨折のケガを負った。	44	～ 9
7	9～10	1階外壁（トタン）解体工事中、脚立1段目で作業をしていたら誤って転倒し肋骨を負傷したものである。	69	～ 9
7	13～14	2階にて流し台上の収納棚を交換のために取り外す際に、外れた棚を支えようと無理な体勢となり、脚立から飛び降りた時に左足踵を骨折した。	44	～ 49
7	9～10	8キロぐらいの手荷物を落ち、スラブから隣の屋根に上がるため脚立に足を掛け隣に移る時に左ヒザの左側部分にプチッと何かが切れるような音がして、その場にうずくまり歩行不能となった。	52	～ 9
7	15～16	玄関の天井のコーキング中に、120cmの脚立の上から、落下した。	63	～ 9

7	13～ 14	屋根塗替工事の為梯子を登り1.6m位の場所で足が滑り地面に落ちて右足をつき踵にひびが入る。	66	10 ～ 29
7	9～ 10	自宅兼事務所の外壁塗装を開始しようと、脚立を伸ばして梯子の形状に変えた後、材料を持って梯子を3m程のぼったところで、足を滑らせて落下した。その際に右あばら骨と骨盤にヒビが入った。	41	1 ～ 9
7	10～ 11	新築工事中の12階建マンション6～7F階段踊り場において、塗装工事の養生作業中（天井）、4尺脚立での作業中、脚立上で方向を変えた際にバランスを崩して転倒した。その際、右手を床について右手首を骨折した。	23	50 ～ 99
7	16～ 17	当社の資材倉庫内で、脚立にのぼって資材の収納作業をしていたところ、誤って足を滑らせて転落し、床で右脇腹を強打し、右肋骨を一部骨折した。	47	1 ～ 9
7	14～ 15	事務所ビル16階の原状回復工事の現場において、解体作業における在来間仕切のボード撤去を立馬上にて作業中、想定より大きな面が剥がれ、重量的に支えきれず、立馬から飛び降りてバランスを崩し、左足より着地し左足踵骨を骨折した。	65	30 ～ 49
7	17～ 18	お客様の屋根見積りの為、屋根に梯子を掛け、危険な為下に1人補助として置いて梯子を登り、屋根に右足を掛けて左足を離そうとした瞬間、梯子が横にずれ、焦って体を立て直そうとしたが、梯子に手が届かず落下した。	35	1 ～ 9
7	16～ 17	シャッター修理工事の後片けのため脚立を降りようとしたところ、一番下のステップを踏み外してしまい地面に落下し、左肘を強打し脱臼した。	35	1 ～ 9
7	16～ 17	工場内で塗料の積み下ろし作業中、脚立の上段に乗って積荷を下ろし、下りるときにバランスを崩し、地面に転倒時に右足首が捻じれ、右足首下の靭帯が切れ、骨にひびが入った。	23	1 ～ 9
7	9～ 10	改修工事現場において、脚立に乗ってボード貼り作業中にバランスを崩し、約2mの脚立の上から落下し、脚を骨折した。	39	1 ～ 9

7	15～ 16	屋根の上からスライド式の梯子を降りる途中、梯子の引っ掛けがきちんとはまっておらず、金具が外れて梯子が閉じてしまい、転倒した。	67	1 ～ 9
9	14～ 15	当社資材置場に隣接する雑木林より、張り出している樹木の枝が作業の邪魔になるため、所有者に許可を得て、枝の剪定作業に従事していた。作業が終了したため、樹木にかけていた二連梯子を下りている際、梯子の踏みざんを背に下りていたのと、安全帯のフックは外してしまっていたために、上梯子から下梯子に足を架け替えたあたりで足を滑らして転落、約3mの高さから剪定した枝の上に落ちて左腰を打ち、負傷した。	20	1 ～ 9
9	19～ 20	会社で積み下ろし作業中、高所の物をとろうとしたところ、高さ1.5m位の台から足を滑らせ、背中から落ちた。	42	1 ～ 9
9	13～ 14	当社倉庫内において片付けをしていた際、棚に脚立を使って物を置いて、降りる時足を踏み間違えて倒れて頭と肩を打ち、頭部と右肩を負傷した。	63	1 ～ 9
9	13～ 14	現場に於いて、2人組で野外広告の看板を設置する作業中、被災者が180cmの脚立上に登り作業し、下で作業員が監視していた、その作業が終わったので脚立を移動させようと監視が被災者がいるまま脚立を動かした、突然のことに被災者はバランスを崩し、土の地面に落下した、すぐに救急車にて搬送、左足及び左腓骨を骨折していた、ヘルメット・安全帯・安全靴着用していたが、事故当時、安全帯を使用していなかった。	39	10 ～ 29
10	10～ 11	工務店の資材置場に於いて、資材置場の屋根のトタンが台風で一部剥がれた為、修理し梯子を使って降りる途中で足を踏み外し、高さ約4mのところから転落し、右足を負傷してしまった。	80	10 ～ 29
10	14～ 15	高架水槽塔屋の昇降タラップにて、昇降タラップから降りている時に、屋上野外強風時で、墜落防止安全ブロックを使用せずに、屋上床2~3m上部から転落した。	58	1 ～ 9
		学校の渡り廊下屋根修繕工事現場において、前日の台風の風で飛ばされた校舎渡り		

10	10～ 11	廊下の屋根（ポリカーボネート製、大きさ1.0m×1.8m位）を、高さ約1mの脚立に乗って取り付けようとしていたところ、突風にあおられて転落し、左脚かかとを打撲し骨折、また、腰部も打撲で背骨を圧迫骨折したもの。	62	1 ～ 9
10	13～ 14	事業所内での作業中、はじこより落下し、負傷したもの。	44	10 ～ 29
11	10～ 11	車庫改修工事現場において、脚立（高さ1m20cm）に上ってタルキ受けの取り付け作業中、バランスを崩し脚立から落下し、右肩を負傷した。	62	10 ～ 29
11	16～ 17	塗装作業中に、脚立から足を滑らし転倒し、左半身を負傷した。	42	1 ～ 9
11	10～ 11	2階バルコニーの防水工事で梯子を立て掛けて作業を行っていて、荷物を持って梯子を下りようとした時にバランスを崩して梯子から転落し地面に頭部を強打した。	46	1 ～ 9
11	1～2	廊下天井ボード貼り作業を、アルミ製可搬式作業台で施工中、ボード貼り替え作業が生じた為、ビスを取り外す作業を体を回しながら行っていた際、工具の電源コードが足に絡みついていたので、足でコードを振り払った時バランスを崩し転倒した。可搬式作業台の手掛かり棒を掴んだが、荷重に耐え切れず手掛かり棒が曲がり、前のめりに床へ転落した。	47	1 ～ 9
11	12～ 13	脚立に乗って洗浄機を使って社用車のキャラバンの洗浄をしていた。作業が終わり、高さ1.5mの高さから脚立を降りた際の衝撃で右足を負傷した。	27	1 ～ 9
11	7～8	塗装の倉庫にて、道具の準備をしていたところ、車両の屋根に積んであった道具を降ろすため脚立を使用して乗り移ろうとした際に誤って転落し、両足の踵を負傷した。しばらく休めば大丈夫だろうと思い、車で工事現場まで移動したが、次第に両足の踵の痛みが増し、現場近くの病院を受診した。検査の結果、骨折していること	31	1 ～ 9

		が分かった。		
11	10~11	当事業場において、足場や棚の整理をしようと脚立を立て掛け作業していたところ、誤ってバランスを崩してしまい後ろ側に転倒してしまった。その際にアタッチメントの機械に右肩や右膝を強打してしまい、負傷したものである。独自に立てた脚立の上に跨いで座って作業をしていた。脚立を立てた地面が不安定で脚立がぐらぐらしてしまい、そのまま脚立ごと後ろ側に倒れてしまった。倒れて行く最中に体だけは反転させたが、そこに重機があり右脛を強打してしまった。	47	10~29
12	8~9	歯科医院建築クリーニング現場にて、建物2階外側の窓ガラス清掃を行う為、梯子状に伸ばした脚立を支えていたところ、脚立が倒れ、脚立に登って作業していた職人と衝突し、頭をぶつけて負傷したものである。	67	1~9
12	14~15	会社の資材置場にて、資材置場内建物の軒下に収納してある角材を取り出そうと脚立を用いて作業をしていたところ、脚立の設置部分に石があり平坦になっておらずバランスを崩し、高さ70~80cmの位置から脚立とともに落下し、落下場所の石と石の間に右足を挟みこんでしまうような状況となり負傷した。	59	1~9
12	10~11	元請の外壁塗装工事において、工事終了後の点検チェックのため外壁周りの確認作業中、2階より梯子で下りる時に足を滑らせて落下し負傷した。	60	1~9
12	11~12	現場に行く前に、塗料の準備をしている時、上の棚の塗料を取ろうと脚立に乗り塗料を持ったままバランスを崩し落下した。その際、足から着地した。その時は足の痛みもたいしたことはなく、すぐ治るかと思い様子を見たが時間がたってゆっくり歩こうとしたが歩けなかったため病院を受診した。	54	1~9
12	10~11	当社所有のユニットハウスの除雪作業時、屋根の雪の除雪の為、梯子をかけて上っている時に足を滑らせて落下した（ヘルメット着用あり）。	70	10~29
12	8~9	外壁塗り替え工事で、脚立から降りようとして足を滑らして落下し、転倒して右足首を捻り負傷した。	50	1~9

12	9~10	本社横資材置き場にて資材の整理をしていた際、資材を棚に積込んでいたところバランスを崩し、脚立から転落して、右足踵を骨折した。	55	10 ~ 29
12	13~14	壁の高さ5mの位置に、梯子に乗ってビス打ちをしていた際にバランスを崩し、梯子ごと倒れて転倒し、地面に右肘を強打して骨折した。	63	1 ~ 9
12	10~11	住宅の屋上で高圧洗浄の作業をしている際、2階のベランダから屋上に掛けていた梯子を使って下りようとしたとき、掛けていた梯子が水で滑りずれて倒れ、その際に一緒に2階のベランダに落下し、腰と臀部を強打し負傷した。	39	1 ~ 9
12	9~10	客宅で、椅子から下りる際に足が滑り、背中と腰を強打し負傷した。	25	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html